

# 『教育学研究論集』投稿規定

平成 18 年 3 月 1 日

編集委員会決定

改正 平成 27 年 7 月 11 日

## 【一般事項について】

1. 本誌は『教育学研究論集』と称し、武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻（以下、教育学専攻という）の研究紀要として発行される。
2. 本誌についての事務
  - (1) 本誌についての事務は本学大学院担当教員で構成された編集委員会が行う。
  - (2) 編集委員長・副編集委員長は編集委員のなかで互選する。
3. 原著論文掲載については、編集委員会において選任された査読委員（学外の査読者を含む）の審査を経て、編集委員会が掲載可否を決定する。
4. 原稿印刷で、特に費用を要する場合は、執筆者の負担とする
5. (応募資格) 本誌に投稿できる者は本学教育学科の担当教員、教育学専攻の大学院生・修了生、臨床教育学研究科博士後期課程（教育学分野）の大学院生・満期退学者・修了生及び、当該編集委員会の承認を得た者（たとえば、教育学科卒業生など）とする。共同執筆者の場合も同様とする。
6. 投稿論文の提出先  
(郵送の場合) 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46  
武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻研究室気付 『教育学研究論集』編集委員会  
(学内便の場合) 教育学論集投稿申込書に別記
7. 原稿を、武庫川女子大学大学院文学研究科の HP にリンクされるかたちでネット上の公開、武庫川女子大学リポジトリ、CiNii オープンアクセスによりインターネットを通して公開を許諾しない投稿者は、原稿提出の際に書面で申し出るものとする。
8. 審査後の手続きおよび掲載決定後の提出物については別途編集委員会より連絡する。
9. 本規定の改正は編集委員会で決議される。

## 【執筆事項について】

1. 投稿原稿は、和文又は英文によるものとし、特別の事情がない限りパソコン又はワープロを用いて作成し、鮮明にプリント又はコピーされたレイアウト原稿とする。また、レイアウト原稿の作成に当たっては、レイアウト例を必ず参照のこと。完成原稿を提出するものとし、校正は 1 度のみで、誤字脱字の修正程度にとどめるものとする。

投稿申込にあたって、執筆区分を明記すること。区分は以下のとおりとする。制限字数はレイアウトされた頁数において、原著論文 8 頁以内、研究ノート 8 頁以内、教育・保育実践ノート 8 頁以内、資料解題 8 頁以内、翻訳 8 頁以内、図書紹介 2 頁以内とする。

ただし、原著論文および研究ノートに関しては、編集委員会により執筆区分の変更を求めることがある。

- (1) 原著論文
- (2) 研究ノート
- (3) 院生研究ノート
- (4) 教育・保育実践ノート
- (5) 資料解題
- (6) 翻訳
- (7) 図書紹介
- (8) その他

編集委員会が必要だと認めたもの

2. 投稿論文の数に関して、原著論文は一人 2 点以内とする。単著の場合は 1 論文までとする。ただし連名による論文の場合は、第一執筆者としてさらに 1 論文提出することができる。
3. 投稿論文に利用したデータや事例などについて、研究倫理上必要な手続きを経ていることを注または末尾に記すこと。詳細は教育学専攻倫理綱領を参照のこと。
4. 原稿枚数等及び論文の体裁は次によるものとする。
  - (1) 和文・英文論文等共通事項
    - ・用紙は、A4 判縦置き横書きとする。
    - ・表題、本文(図版含む)、注、参考文献など合わせて規定字数以内とし、ページ下中央部にページ番号を印字する。
    - ・原稿第 1 ページの 最段下に著者の所属を和文と英文で書く
    - ・論文中(注、参考を含む)に著者本人の著による文献等を表記する際、著者名は、「拙著」「拙稿」等とせず、著者本人の名で表記する。
    - ・イタリック、太字体(ゴシック、ボールド)は原稿で指定する。
    - ・図版原稿がある場合は、刷り上がりをイメージした大きさと位置に挿入する。
    - ・図版の挿入は、切り貼り又はソフトでペーストする。
  - (2) 和文論文等
    - ・本文、注、参考のページは 25 字×48 行の 2 段組とし、上下の余白はそれぞれ 25 mm, 20 mm, 左右の余白はそれぞれ 18 mm, 18 mm とし、段間は 8 mm

程度とする。

- ・書体は、MS 明朝 9 ポイントを標準とする。見出しは MS ゴシック 9 ポイントとする。
- ・原稿第 1 ページに和文表題 (MS 明朝 12 ポイント) ・和文著者名 (MS 明朝 12 ポイント), 原著論文の場合は和文要約 (MS 明朝 9 ポイント) または外国語文要約 (Century 11 ポイント) を書く。
- ・本文は、書き出し及び改行後の書き出し部分を 1 マス空け、読点は「,」とし、句点は「。」とする。
- ・2 桁以上の数字は半角文字、アルファベットは半角を基本とするが、略号等は全角も可とする。
- ・カタカナは全角とする。
- ・表の中で使用する文字は和文については MS 明朝 8 ポイント、英数字については Century8 ポイントとする。

- ・半角英数文字を用いる場合、「,」(コンマ), 「.」(ピリオド), 「:」(コロン), 「;」(セミコロン)等の後に半角スペースを挿入してください(ただし、省略記号としての「.」に「,」が続く場合、「.」の後に半角スペースは必要ありません)。

### (3) 英文論文等

- ・本文、注、参考のページは、行数 48 行(又は 48 行程度)の 1 段組とし、上下の余白はそれぞれ 25 mm, 20 mm 程度、左右の余白はそれぞれ 18 mm, 18 mm とする。
- ・書体は、Century 11 ポイントを標準とする。
- ・論文は、英語を母語とする者(論文中の専門用語を理解し得る者であることが望ましい)の校閲を経る。

### 5. 注・引用は、原則として以下の様式により論文末尾にそれぞれ別にまとめる。

注・引用は、本文中の該当箇所に、(1), (2)…の肩番号をつけ、論文末尾に番号順に記載する。引用文献は、下記の様式により、論文末尾に番号順に記載する。なお、欧文(ローマ字)誌・書名は、イタリックとする。

また、著者が複数の場合は、その全員を記載する。その際、著者名と著者名の間は、カンマ[, ]でつなぐ。

#### a. 雑誌論文の場合

文献番号 著者名「論文表題」『掲載雑誌名』巻(号), 発行年, ページ数

#### ※欧文雑誌の場合

文献番号 著者名 論文表題 掲載雑誌名, 巻

(号), 発行年, ページ数

#### 【記載例】

(4)鈴木一郎「総合学習における教育実践学的存在論」『総合学習』4, 2000, pp. 38-39.

(7)James. M., Japanese Education, *Journal of Education*, Vol.16, 2004, pp. 58-59.

#### b. 著書の場合

①文献番号 著者名『書名』出版社・発行所名, 発行年, ページ数

②文献番号 著者名「論文表題」編者名編『書名』出版社・発行所名, 発行年, ページ数  
※欧文著書の場合

文献番号 著者名. 論文表題. In 編者名(ed), 書名, 出版社・発行所名, 発行年, ページ数

#### 【記載例】

(4)鈴木一郎『図で読むスクールカウンセリング』ミノルタ書房, 1998, pp. 33-45.

(7)Chales.A., .Singlehood. In Macklin.E. Rubin.S(ed),*Families in postmodern society.* Oxford University Press, 1987, pp. 34-35

### 6. 図、表、写真図版等は、本文中の該当箇所の刷り上がりイメージした位置に、鮮明に識別できる大きさで、以下の様式により挿入する。

・図(写真図版を含む)は、図 1(Fig.1), 図 2(Fig.2), …, のように、表 1 (Table1), 表 2 (Table2), …のように通し番号をつける。

・図の番号及び見出しは、図の下に記入し、表の番号及び見出しは、表の上に記入する。

・図、表、写真図版等の出典は、オリジナルの場合を除き、論文末尾に通し番号順にまとめ、参考文献の記載例を参考に明記する。

#### 【記載例】※著書の場合

図 4 平山礼二『日本画の世界』求龍書店 1986, p. 48.

・写真図版の印刷は、編集委員会がカラー印刷の必要があると認める場合を除き、白黒とする。

・図、表、写真図版の大きさは、刷り上がり 1 ページ(縦 23.5cm×横 16.5cm) 以下を原則とする。

## 掲載決定後の提出物に関する留意事項

下記の事項に留意の上、所定の期日までに最終レイアウト原稿を、紙媒体にて下記の場所に、およびデータを大津尚志までメール添付 ([otsut@mukogawa-u.ac.jp](mailto:otsut@mukogawa-u.ac.jp)) に、決定稿を提出のときは、紙媒体に加えて記録媒体 (FD, CD-ROM, メモリースティック等)及び図版原稿等を提出してください。

### 記

#### 1 最終レイアウト原稿(印刷業者用)1部

- ・印刷業者のコンピュータ処理で正しく変換できない恐れのある特殊な文字、記号には朱書きの注記を行ってください。

#### 2 記録媒体(FD, CD-ROM, メモリースティック等)の提出方法

①次の項目をラベルに記入して、記録媒体に貼ってください。

- ・提出年月日
- ・筆頭著者名。

②記録媒体には、次の内容のファイルを取めてください。

- ・表題および本文ページ(注, 参考を含む)のファイル
- ・表題及び本文ページのテキストファイル
- ・図版ファイル

#### 3 図版原稿等の提出方法

①レイアウト原稿にソフト等を使用して図版等をペーストした場合であっても、図版は必ず1点ずつ提出してください。

②図版等は、そのまま版下となりますので鮮明なものをオリジナルサイズで提出してください。写真図版で特に必要がある場合はネガを添付してください。なお、記録媒体に図版ファイルが収められているときは、当該ファイルを利用する場合があります。

③図版等の印刷サイズは、レイアウト原稿中のイメージサイズを基に割り付けしますので、縮小やトリミングの必要なものは、適宜の方法によりその指示を明記してください。

#### 4 その他

- ①英文論文及び和文論文の英文要旨は、著者の責任において英語を母語とする者の校閲を受けてください。
- ②特殊な文字・記号は正しく変換されない場合がありますので、初校時に十分留意してください。
- ③頁数が奇数の場合で最終頁が数行の場合、編集委員会の判断で前頁に組み込むことがあります。
- ④編集委員会により、原稿受理日を記載して掲載する。

エントリー締め切り 平成 29 年 7 月 29 日(土)正午

論文など提出締め切り 平成 29 年 10 月 21 日(土)正午

提出先：SE 館 1 階の大津尚志のメールボックス

『教育学研究論集』第13号 投稿申込書

申込年月日	平成 年 月 日	
筆頭著者氏名		
ローマ字		
所属・職名		
連絡先	住所	〒
	電話番号	
	FAX	
	E-mail	
共著者氏名		
所属・職名		
表題		
原稿ページ数	(表題, 本文, 注, 参考文献の合計)	ページ
抜刷希望部数	30部 + 部(著者負担) = 部 (予算に応じて変更があります)	
投稿区分	原著論文 研究ノート 院生研究ノート 教育・保育実践ノート 資料解題 翻訳 図書紹介 その他	

- 平成29年度の投稿申込締切日は平成29年7月29日(土)正午  
提出先: SE館1階の大津尚志メールボックス
- 投稿論文などの提出締切日は平成29年10月21日(土)正午  
提出先: SE館1階の大津尚志メールボックス  
※投稿時には記録媒体の提出は不要です。
- 抜刷希望の場合, 予算の都合上費用負担が生じる場合があります。事前に連絡します。